

『大霞』発行表（五訂稿）

（令和 4（2022）年 8 月 15 日（月）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	1
（はじめに一改訂経緯一）	1
（凡 例）	3
『大霞』発行表（★：国立国会図書館所蔵雑誌関連記述）	4
1 国立国会図書館所蔵雑誌製本巻一覧	4
2 号数別一覧	4
【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）	11
【関連事項】	13

（補正経緯）

平成 20（2008）年 7 月 27 日初稿作成
平成 20（2008）年 8 月 10 日改訂稿作成
平成 21（2009）年 9 月 2 日再訂稿作成
平成 25（2013）年 7 月 19 日（金）二訂稿作成
令和 元（2019）年 8 月 20 日（火）三訂稿作成
令和 元（2019）年 11 月 27 日（水）四訂稿作成
令和 4（2022）年 8 月 15 日（月）五訂稿作成

（はじめに一改訂経緯一）

・本「『大霞』発行表」は、本 HP 別稿「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」（第九次～第十一次補正稿）作成中における備忘録の一つである。今後、更により便利なものにしたく考えている。

（平成 20 年 7 月 27 日初稿作成）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉

・（★：国立国会図書館所蔵雑誌関連記述）中の★に連番号を付するとともに、全体にわたって、誤植等を訂正した。

（平成 20 年 8 月 10 日改訂稿作成）

・その後刊行のものを追加し、全体にわたって一、二補正した。

（平成 21 年 9 月 2 日再訂稿作成（従前の「二訂稿」を「再訂稿」とした。））

・その後刊行のものを追加し、全体にわたって一、二補正した。

(平成 25 年 7 月 19 日二訂稿作成)

- ・その後更に刊行のものを追加し、全体にわたって一、二補正した。

(令和元年 8 月 20 日三訂稿作成)

- ・全体にわたって一、二補正した。

(令和元年 11 月 27 日四訂稿作成)

- ・レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。

(令和 4 (2022) 年 8 月 15 日 (月) (五訂稿) 作成)

(凡 例)

- ・大霞会結成大会：昭和 32 (1957) 年 11 月 11 日開催
- ・雑誌『大霞』創刊：昭和 33 (1958) 年 3 月第 1 号発行
- ・体裁：

第 1 号：昭和 33 (1958) 年 3 月刊～第 8 号：昭和 35 (1960) 年 1 月刊：タブロイド型

第 9 号：昭和 35 (1960) 年 4 月刊～第 39 号：昭和 42 (1967) 年 10 月刊：週刊誌型・表紙白黒

第 40 号：昭和 43 (1968) 年 1 月刊～現在 (最新号：第 155 号、平成 20 (2008) 年 7 月 4 日刊)：週刊誌型・表紙色刷

- ・発行回数

第 1 号：昭和 33 (1958) 年 3 月刊～第 72 号：昭和 51 (1976) 年 1 月刊 年 4 回

第 73 号：昭和 51 (1976) 年 5 月刊～第 125 号：平成 5 (1993) 年 9 月刊 年 3 回

第 126 号：平成 6 (1994) 年 1 月刊～現在 (最新号：第 164 号、平成 25 (2013) 年 1 月 1 日刊) 年 2 回

- ・近年時代の趨勢からか「大霞会」と「自友会」との合同会合記事が頻出する。

(令和元 (2019) 年 8 月 20 日追加)

- ・国立国会図書館所蔵『大霞』検索 <<http://www.ndl.go.jp/>>

・大霞会編『内務省史』(全四巻)(財地方財務協会、昭和 45 年～46 年刊)刊行

・大霞会編『内務省史』(全四巻)(明治百年史叢書、原書房、昭和 55 年刊)復刊

・大霞会編『内務省外史』(財地方財務協会、昭和 52 年 11 月 11 日刊)刊行

・大霞会編『続内務省外史』(財地方財務協会、昭和 62 年 11 月 11 日刊)刊行

<http://www.amazon.co.jp/%E6%9C%AC/s?ie=UTF8&field-author=%E5%A4%A7%E9%9C%9E%E4%BC%9A&page=1&rh=n%3A465392%2Cp_27%3A%E5%A4%A7%E9%9C%9E%E4%BC%9A>

- ・大霞会旧蔵内政関係者談話録音速記録(国立国会図書館所蔵)

<<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/entry/taikakaishozounaiseikannkeishadannwarokuonn.php>>

- ・元号西暦対照早見表

<http://web.nichigai.co.jp/nga_presen/jsp/nweb/who/help/pdf/x1.pdf#search=%27%E5%85%83%E5%8F%B7%E8%A5%BF%E6%9A%A6%E5%AF%BE%E7%85%A7%E6%97%A9%E8%A6%8B%E8%A1%A8%27>

昭和 33 年/1958 年 昭和 35 年/1960 年 昭和 40 年/1965 年

昭和 45 年/1970 年 昭和 50 年/1975 年 昭和 55 年/1980 年

昭和 60 年/1985 年 昭和 64 年/平成元年 (1 月 8 日～) /1989 年

平成 5 年/1993 年 平成 10 年/1998 年 平成 12 年/2000 年

平成 15 年/2003 年 平成 20 年/2008 年 平成 22 年/2010 年

平成 23 年/2011 年 平成 24 年/2012 年 平成 25 年/2013 年

平成 31 年 (～4 月 30 日) /2019 年 令和元年 (5 月 1 日～) /2019 年

『大霞』発行表（★：国立国会図書館所蔵雑誌関連記述）

〔目 次〕

- 1 国立国会図書館所蔵雑誌製本巻一覧 ……………4
2 号数別一覧 ……………4

1 国立国会図書館所蔵雑誌製本巻一覧（欠号：第1号～第3号、第12号、第13号、第31号）

- ★1（国立国会図書館所蔵雑誌第1号～第3号はなし、未見。）
- ★2（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻1：第4号～第8号）
- ★3（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻2：第9号～第30号。ただし、第12号、第13号はなし、未見。）
- ★4（国立国会図書館所蔵雑誌第31号はなし、未見。）
- ★5（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻3：第32号～第38号）
- ★6（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻4：第39号～第51号）
- ★7（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻5：第52号～第63号）
- ★8（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻6：第64号～第74号）
- ★9（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻7：第75号～第83号）
- ★10（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻8：第84号～第91号（〈マ〉。実際は、第92号まで製本しており、「第84号～第92号」が正しい。））（国立国会図書館 HP「書誌全項目表示」では、第92号を欠号とするが、同号は実際は存在する。）
- ★11（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻9：第93号～第101号）
- ★12（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻10：第102号～第113号）
- ★13（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻11：第114号～第125号）
- ★14（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻12：第126号～第135号）
- ★15（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻13：第136号～第143号（第136号別冊共））
- ★16（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻14：第144号～第149号）
- ★17（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻15：第150号～第159号）
- ★18（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻16：第160号～第169号）（以降未調査）

2 号数別一覧（欠号：第1号～第3号、第12号、第13号、第31号）

- ★1（国立国会図書館所蔵雑誌なし。第1号～第3号、未見。）
第1号（昭和33年3月刊、未見。）
第2号（昭和33年刊、未見。）
第3号（昭和33年刊、未見。）
- ★2（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻1：第4号～第8号）

第4号（新春号、昭和34年1月（日付はなし。）刊）

第5号（陽春号、昭和34年4月1日刊）

第6号（盛夏号、昭和34年7月1日刊）

第7号（中秋号、昭和34年10月1日刊）

第8号（新春号、昭和35年1月1日刊）

★3（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻2：第9号～第30号。ただし、第12号、第13号はなし、未見。）

第9号（晩春号、昭和35年4月1日刊）

第10号（盛夏号、昭和35年7月1日刊）

第11号（創立三周年記念号、昭和35年10月1日刊）

第12号（昭和36年刊、未見。）

第13号（昭和36年刊、未見。）

第14号（盛夏号、昭和36年7月1日刊）

第15号（中秋号、昭和36年10月1日刊）

第16号（新春号、昭和37年1月1日刊）

第17号（晩春号、昭和37年4月1日刊）

第18号（盛夏号、昭和37年7月1日刊）

第19号（中秋号、昭和37年10月1日刊）

第20号（新春号、昭和38年7月1日刊）（「大霞会五年の歩み」あり。）

第21号（晩春号、昭和38年4月1日刊）

第22号（盛夏号、昭和38年7月1日刊）

第23号（中秋号、昭和38年10月1日刊）

第24号（新春号、昭和39年1月1日刊）

第25号（晩春号、昭和39年4月1日刊）

第26号（盛夏号、昭和39年7月1日刊）

第27号（中秋号、昭和39年10月1日刊）

第28号（新春号、昭和40年1月1日刊）

第29号（晩春号、昭和40年4月1日刊）

第30号（盛夏号、昭和40年7月1日刊）

★4（国立国会図書館所蔵雑誌第31号はなし、未見。）

第31号（昭和40年刊、なし、未見。）

★5（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻3：第32号～第38号）

第32号（新春号、昭和41年1月1日刊）

第33号（晩春号、昭和41年1月1日刊）

第34号（盛夏号、昭和41年4月1日刊）

第35号（中秋号、昭和41年10月1日刊）

第36号（新春号、昭和42年1月1日刊）

第37号（陽春号、昭和42年4月1日刊）

第38号（盛夏号、昭和42年7月1日刊）

★6 (国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 4: 第 39 号～第 51 号)

第 39 号 (中秋号、昭和 42 年 10 月 1 日刊)

第 40 号 (新春号、昭和 43 年 1 月 1 日刊) (十周年記念寄稿あり。表紙色刷に変更。)

第 41 号 (陽春号、昭和 43 年 4 月 1 日刊)

第 42 号 (盛夏号、昭和 43 年 7 月 1 日刊)

第 43 号 (中秋号、昭和 43 年 10 月 1 日刊)

第 44 号 (新春号、昭和 44 年 1 月 1 日刊)

第 45 号 (陽春号、昭和 44 年 4 月 1 日刊)

第 46 号 (盛夏号、昭和 44 年 7 月 1 日刊)

第 47 号 (中秋号、昭和 44 年 10 月 1 日刊)

第 48 号 (新春号、昭和 45 年 1 月 1 日刊)

第 49 号 (陽春号、昭和 45 年 4 月 1 日刊)

第 50 号 (盛夏号、昭和 45 年 7 月 1 日刊)

第 51 号 (中秋号、昭和 45 年 10 月 1 日刊)

★7 (国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 5: 第 52 号～第 63 号)

第 52 号 (新春号、昭和 46 年 1 月 1 日刊)

第 53 号 (陽春号、昭和 46 年 4 月 1 日刊)

第 54 号 (盛夏号、昭和 46 年 7 月 1 日刊)

第 55 号 (中秋号、昭和 46 年 10 月 1 日刊)

第 56 号 (新春号、昭和 47 年 1 月 1 日刊)

第 57 号 (陽春号、昭和 47 年 4 月 1 日刊)

第 58 号 (盛夏号、昭和 47 年 7 月 1 日刊)

第 59 号 (中秋号、昭和 47 年 10 月 1 日刊)

第 60 号 (新春号、昭和 48 年 1 月 1 日刊)

第 61 号 (陽春号、昭和 48 年 4 月 1 日刊)

第 62 号 (盛夏号、昭和 48 年 7 月 1 日刊)

第 63 号 (中秋号、昭和 48 年 10 月 1 日刊)

★8 (国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 6: 第 64 号～第 74 号)

第 64 号 (新春号、昭和 49 年 1 月 1 日刊)

第 65 号 (陽春号、昭和 49 年 4 月 1 日刊)

第 66 号 (盛夏号、昭和 49 年 7 月 1 日刊)

第 67 号 (中秋号、昭和 49 年 10 月 1 日刊)

第 68 号 (新春号、昭和 50 年 1 月 1 日刊)

第 69 号 (陽春号、昭和 50 年 4 月 1 日刊)

第 70 号 (盛夏号、昭和 50 年 8 月 1 日刊)

第 71 号 (中秋号、昭和 50 年 10 月 20 日刊)

第 72 号 (新春号、昭和 51 年 1 月 1 日刊)

第 73 号 (晚春号、昭和 51 年 5 月 1 日刊)

(年 3 回に変更、基本的には 1 月 1 日新春号、5 月 1 日晚春号、9 月 1 日初秋号)

第 74 号（初秋号、昭和 51 年 9 月 1 日刊）（「新名誉会員に高橋雄豺氏（1889～1979）等」（47 頁））

★9（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 7: 第 75 号～第 83 号）

第 75 号（新春号、昭和 52 年 1 月 1 日刊）

第 76 号（晩春号、昭和 52 年 6 月 1 日刊）

第 77 号（初秋号、昭和 52 年 9 月 10 日刊。大霞会創立二十周年記念号）

第 78 号（新春号、昭和 53 年 1 月 1 日刊）

第 79 号（晩春号、昭和 53 年 5 月 1 日刊）

第 80 号（初秋号、昭和 53 年 9 月 1 日刊）

第 81 号（新春号、昭和 54 年 1 月 1 日刊）

第 82 号（晩春号、昭和 54 年 5 月 1 日刊）

第 83 号（初秋号、昭和 54 年 9 月 1 日刊）

★10（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 8: 第 84 号～第 91 号（〈マ〉）。実際は、第 92 号まで製本しており、「第 84 号～第 92 号」が正しい。）（国立国会図書館 HP「書誌全項目表示」では、第 92 号を欠号とするが、同号は実際は存在する。）

第 84 号（新春号、昭和 55 年 1 月 1 日刊）

第 85 号（晩春号、昭和 55 年 5 月 1 日刊）

第 86 号（初秋号、昭和 55 年 9 月 1 日刊）

第 87 号（新春号、昭和 56 年 1 月 1 日刊）

第 88 号（晩春号、昭和 56 年 5 月 1 日刊）

第 89 号（初秋号、昭和 56 年 9 月 1 日刊）

第 90 号（新春号、昭和 57 年 1 月 1 日刊）

第 91 号（晩春号、昭和 57 年 5 月 1 日刊）

第 92 号（初秋号、昭和 57 年 9 月 10 日刊）（大霞会創立二十一年から二十五年（昭和 52～57 年）までの記録あり。会長土屋正三（1893～1989）「大霞会の四半世紀」、「名誉会員座談会一覧表」（27 頁）等を収録。）

★11（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 9: 第 93 号～第 101 号）

第 93 号（新春号、昭和 58 年 1 月 1 日刊）

第 94 号（晩春号、昭和 58 年 5 月 10 日刊）

第 95 号（初秋号、昭和 58 年 9 月 20 日刊）

第 96 号（新春号、昭和 59 年 1 月 1 日刊）

第 97 号（晩春号、昭和 59 年 5 月 1 日刊）

第 98 号（初秋号、昭和 59 年 9 月 1 日刊）

第 99 号（新春号、昭和 60 年 1 月 1 日刊）

第 100 号（晩春号、昭和 60 年 5 月 1 日刊。100 号記念号）

第 101 号（初秋号、昭和 60 年 10 月 1 日刊）

★12（国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 10: 第 102 号～第 113 号）

第 102 号（新春号、昭和 61 年 1 月 1 日刊）

第 103 号（晩春号、昭和 61 年 5 月 1 日刊）

- 第 104 号 (初秋号、昭和 61 年 10 月 1 日刊)
第 105 号 (新春号、昭和 62 年 1 月 1 日刊)
第 106 号 (晩春号、昭和 62 年 5 月 1 日刊)
第 107 号 (初秋号、昭和 62 年 9 月 1 日刊。大霞会創立三十周年記念号)
第 108 号 (新春号、昭和 63 年 1 月 1 日刊)
第 109 号 (晩春号、昭和 63 年 5 月 1 日刊)
第 110 号 (初秋号、昭和 63 年 10 月 1 日刊)
第 111 号 (新春号、昭和 64 年 1 月 1 日刊)
第 112 号 (晩春号、平成元 (1989) 年 5 月 1 日刊) (「土屋正三会長逝く」 (平成元年 2 月 6 日)。土屋正三: 1893~1989)
第 113 号 (初秋号、平成元年 10 月 1 日刊)
★13 (国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 11: 第 114 号~第 125 号)
第 114 号 (新春号、平成 2 年 1 月 1 日刊)
第 115 号 (初夏号、平成 2 年 6 月 1 日刊)
第 116 号 (中秋号、平成 2 年 10 月 1 日刊)
第 117 号 (新春号、平成 3 年 1 月 1 日刊)
第 118 号 (晩春号、平成 3 年 5 月 1 日刊)
第 119 号 (初秋号、平成 3 年 9 月 1 日刊)
第 120 号 (新春号、平成 4 年 1 月 1 日刊)
第 121 号 (晩春号、平成 4 年 5 月 1 日刊)
第 122 号 (初秋号、平成 4 年 9 月 1 日刊)
第 123 号 (新春号、平成 5 年 1 月 1 日刊)
第 124 号 (晩春号、平成 5 年 5 月 1 日刊)
第 125 号 (初秋号、平成 5 年 9 月 1 日刊)
★14 (国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 12: 第 126 号~第 135 号)
第 126 号 (新春号、平成 6 年 1 月 1 日刊)
第 127 号 (初夏号、平成 6 年 6 月 15 日刊)
第 128 号 (新春号、平成 7 年 1 月 1 日刊)
第 129 号 (初夏号、平成 7 年 6 月 15 日刊)
第 130 号 (新春号、平成 8 年 1 月 1 日刊)
第 131 号 (初夏号、平成 8 年 6 月 18 日刊)
第 132 号 (新春号、平成 9 年 1 月 1 日刊)
第 133 号 (初夏号、平成 9 年 6 月 23 日刊。大霞会創立四十周年記念、(号)なし。)
第 134 号 (新春号、平成 10 年 1 月 1 日刊)
第 135 号 (初夏号、平成 10 年 6 月 29 日刊)
★15 (国立国会図書館所蔵雑誌製本巻 13: 第 136 号~第 143 号 (第 136 号別冊共))
第 136 号 (新春号、平成 11 年 1 月 1 日刊)
他に、第 136 号別冊 (大霞新春号別冊) として、単行冊子『加藤精三先生の思い出』 (平成 11 年 1 月 1 日刊) あり。

加藤精三（1960～1965）：

〈 http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8A%A0%E8%97%A4%E7%B2%BE%E4%B8%89_%E6%94%BF%E6%B2%BB%E5%AE%B6〉

- 第 137 号（初夏号、平成 11 年 6 月 25 日刊）
第 138 号（新春号、平成 12 年 1 月 1 日刊）
第 139 号（初夏号、平成 12 年 6 月 30 日刊）
第 140 号（新春号、平成 13 年 1 月 1 日刊）
第 141 号（初夏号、平成 13 年 6 月 26 日刊）
第 142 号（新春号、平成 14 年 1 月 1 日刊）
第 143 号（初夏号、平成 14 年 6 月 26 日刊）
第 144 号（新春号、平成 15 年 1 月 1 日刊）（鈴木俊一（1910～2010）「大霞会の今後について」（2 頁））
第 145 号（初夏号、平成 15 年 7 月 4 日刊）
第 146 号（新春号、平成 16 年 1 月 1 日刊）
第 147 号（初夏号、平成 16 年 6 月 25 日刊）
第 148 号（新春号、平成 17 年 1 月 1 日刊）
第 149 号（初夏号、平成 17 年 6 月 20 日刊）
第 150 号（新春号、平成 18 年 1 月 1 日刊）
第 151 号（初夏号、平成 18 年 7 月 6 日刊）
第 152 号（新春号、平成 19 年 1 月 1 日刊）（「武藤文雄先生（1908～2005）を偲ぶ会を開催」（平成 18 年 11 月 2 日開催。52～53 頁））
第 153 号（盛夏号、平成 19 年 7 月 4 日刊）（伊藤隆（1932～）「先人の談話録を読もう」（29～30 頁））
第 154 号（新春号、平成 20 年 1 月 1 日刊。大霞会創立五十周年記念号）（「大霞会創立五十周年記念座談会往時を語る」（7～38 頁））
第 155 号（盛夏号、平成 20 年 7 月 4 日刊）
（本稿（改訂稿）作成時点：最新号）
第 156 号（新春号、平成 21 年 1 月 1 日刊）（平成 21 年 9 月 2 日追加）
第 157 号（盛夏号、平成 21 年 7 月 7 日刊）（平成 21 年 9 月 2 日追加）
（本稿（再訂稿）作成時点：最新号）
第 158 号（新春号、平成 22 年 1 月 1 日刊）（平成 25 年 7 月 19 日追加）
第 159 号（盛夏号、平成 22 年 7 月 6 日刊）（平成 25 年 7 月 19 日追加）
第 160 号（新春号、平成 23 年 1 月 1 日刊）（平成 25 年 7 月 19 日追加）
第 161 号（盛夏号、平成 23 年 8 月 5 日刊）（平成 25 年 7 月 19 日追加）
第 162 号（新春号、平成 24 年 1 月 1 日刊）（平成 25 年 7 月 19 日追加）
第 163 号（盛夏号、平成 24 年 7 月 30 日刊）（平成 25 年 7 月 19 日追加）
第 164 号（新春号、平成 25 年 1 月 1 日刊）（平成 25 年 7 月 19 日追加）
（本稿（二訂稿）作成時点：最新号）
第 165 号（盛夏号、平成 25 年 8 月 16 日刊）（令和元年 11 月 27 日追加）

- 第 166 号（新春号、平成 26 年 1 月 1 日刊）（令和元年 11 月 27 日追加）
第 167 号（盛夏号、平成 26 年 7 月 30 日刊）（未見（令和元年 11 月 27 日追加）
第 168 号（新春号、平成 27 年 1 月 1 日刊）（未見）（令和元年 11 月 27 日追加）
第 169 号（盛夏号、平成 27 年 7 月 27 日刊）（未見）（令和元年 11 月 27 日追加）
第 170 号（新春号、平成 28 年 1 月 1 日刊）（令和元年 8 月 20 日追加）
第 171 号（盛夏号、平成 28 年 7 月 29 日刊）（令和元年 8 月 20 日追加）
第 172 号（新春号、平成 29 年 1 月 31 日刊）（令和元年 8 月 20 日追加）
第 173 号（盛夏号、平成 29 年 7 月 31 日刊）（令和元年 8 月 20 日追加）
第 174 号（新春号、平成 30 年 1 月 31 日刊）（令和元年 8 月 20 日追加）
第 175 号（盛夏号、平成 30 年 7 月 31 日刊）（令和元年 8 月 20 日追加）
第 176 号（新春号、平成 31 年 1 月 31 日刊）（令和元年 8 月 20 日追加）
第 177 号（盛夏号、令和 元年 7 月 31 日刊）（令和元年 8 月 20 日追加）
（本稿（三訂稿）、（四訂稿）、（五訂稿）作成時点：最新号。第 178 号以降は未調査。）

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 15 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>>
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>>
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>>
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>>
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>>
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>>
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>>
- ・「田村豊氏著作目録」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>>
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>>
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>>
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf>>
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>>
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf>>
- ・「『警察協会雑誌』発行表」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>>
- ・「頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ—『警察協会雑誌』検討の一として—」（本稿）
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/gantetsu.pdf>>
- ・「植木鬼仏とは誰ぞ—警察川柳史検討— 昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueki001.pdf>>
- ・「北京等駐在內務事務官検討一斑—昭和十年代警察講習所学友会北京支部資料等— 昭和戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>>
- ・「警察雑誌検討一斑—戦前期警察史の一齣—」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/beijin001.pdf>>

- ・『大霞』発行表（本稿）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf>〉
- ・『自警』発行表（戦前期）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf>〉
- ・『警察春秋』とは何ぞ（改訂稿）—大正・昭和戦前期警察史の一齣—
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsushunjuu.pdf>〉
- ・『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）発行表
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf>〉
- ・『法制時報』とは何ぞ（五訂稿）—法制時報社、南郊社社長小池則之とは誰ぞ—（本稿）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/houseijihou.pdf>〉
- ・「楠木繁夫歌「女の階級」及び上原敏関係資料抄—昭和歌謡史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf>〉

【関連事項】（令和4年8月15日追加）

- ・法制史学会：〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館：〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー
〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii ArticlesのCiNii Researchへの統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

（了）